

# 地域資源を生かした

## まちづくり



福島 浩二 さん

いぶり噴火湾漁業協同組合  
副組合長

### 座談会を終えて

洞爺湖町では、平成29年度から始まる新まちづくり総合計画の策定を進めています。人口減少が進む中、まちの魅力と地域資源生かしながら雇用の創出や定住・移住の促進を促すために結婚・出産・子育て環境の改善を図り、生涯活躍のまちづくりを目指して取り組みを進めているところです。

これらの課題を進めていく上で産業の振興が重要な項目であり、産業団体の支援はなくてはなりません。

今回の座談会は、そういった考えの下に、各団体から率直な意見を出してもらい、同時に産業団体間の連携も視野に入れながら企画しました。

時間が足りなくなるほど、貴重な意見が出され、有意義な座談会となりました。

出された意見を参考に、未来志向の町づくりを進めていきたいと思えます。

広報でも、今後各産業での取り組みや連携について一層詳しく取り上げていきたいと思えます。

企画防災課

漁協主体で開催している。過去に開催していた漁港祭りは、いろんな点で漁協の負担が大きき第16回で終了している。大秋獲祭も地域ががんばっているうちはいいが、負担が多くなると開催ができなくなることも考えられる。

漁協主体で開催している。過去に開催していた漁港祭りは、いろんな点で漁協の負担が大きき第16回で終了している。大秋獲祭も地域ががんばっているうちはいいが、負担が多くなると開催ができなくなることも考えられる。

来だと思う。若い世代を大切に、各産業の若者が熱く語り、それを町がまとめる。そういう体制が大事だ。それぞれの産業団体の状況が、同じ町にいなから分からないのが現状である。異業種間の交流や人材確保など情報提供することにより、「農業はこれからこうなる」「今は浜では、発展している



思います。町としても形として残るものができるよう努力していきたい。



森 寿浩

副町長